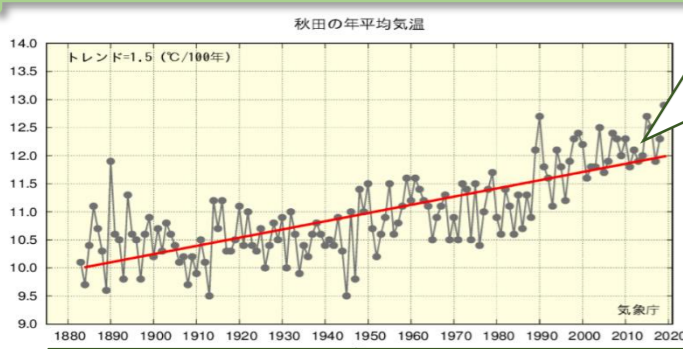


### 1. 計画の基本的事項

#### 地球温暖化が加速しています



秋田県の年平均気温は100年で1.5°C上昇  
(日本の年平均気温の上昇(1.3°C)より大きい)

地球温暖化に伴う気候変動のリスクへの対応が必要

秋田県は、2022(令和4)年に「第2次秋田県地球温暖化対策推進計画」を改定し、「2050年カーボンニュートラル」を目指すことを宣言

#### 湯沢市ゼロカーボンシティ宣言

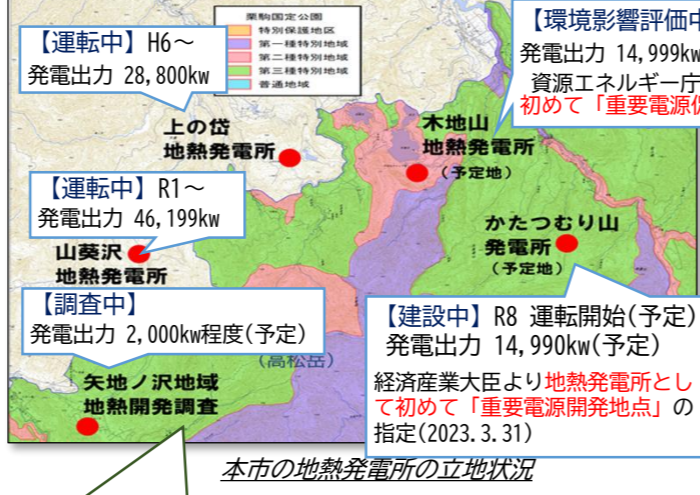


▷2022年6月に湯沢市、湯沢市議会、湯沢商工会議所及びゆざわ小町商工会の4者共同により「湯沢市ゼロカーボンシティ宣言」

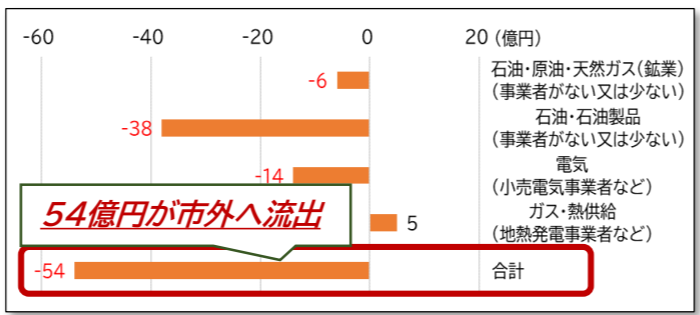
▷2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すとともに、本市の特色を生かしながら経済や社会の同時発展につなげ、持続可能なまちづくりを目指す。



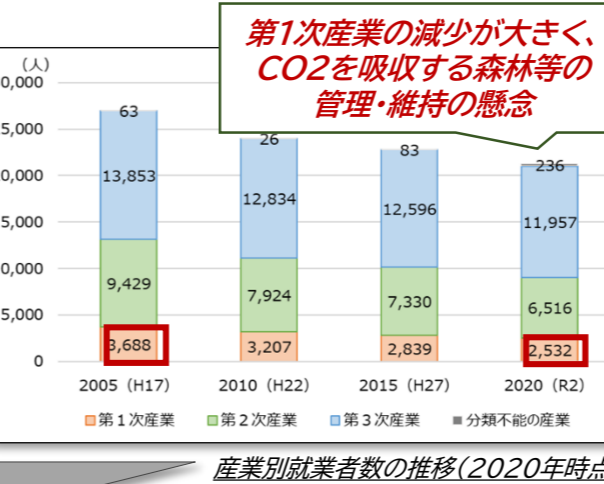
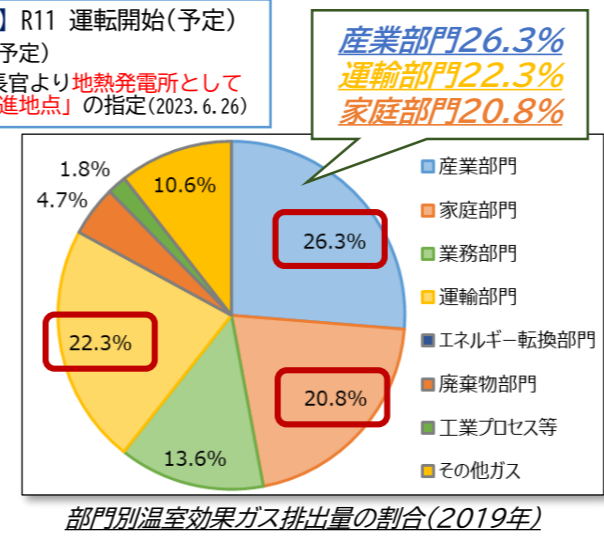
### 2. 湯沢市における地域の現状や温室効果ガスの排出状況



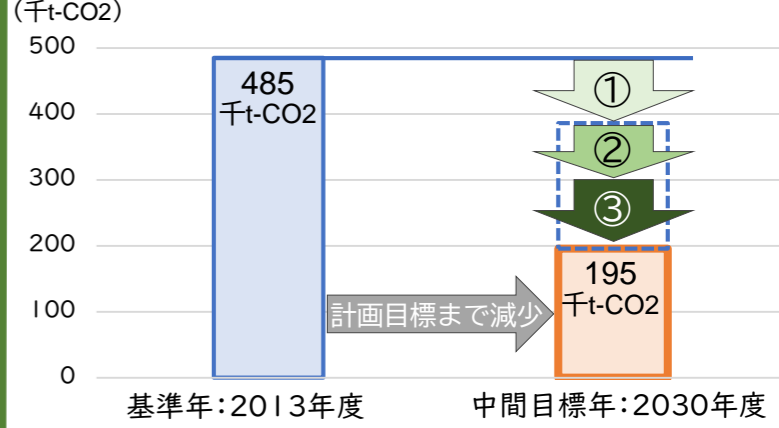
湯沢市の地熱発電所は、2か所が稼働中、3か所が稼働に向けて準備を進めています！



地熱発電を生かした再生可能エネルギーの地産地消、再エネを活用した経済の活性化や地域振興、木材の適正な利用と森林保全の取り組みをはじめ、市民一人ひとりのライフスタイルを脱炭素化することが重要！



### 3. 計画の目標



- ①現状推移による削減  
⇒▲99千t-CO2 (基準年比▲20%)
- ②各分野の対策による削減  
⇒▲46千t-CO2 (基準年比▲10%)
- ③森林吸収量  
⇒▲145千t-CO2 (基準年比▲30%)

「削減量+吸収量」  
①+②+③=▲290千t-CO2

中期目標 2030年度の温室効果ガスの排出量  
2013年度比 60%減

長期目標 2050年度の温室効果ガスの排出量  
温室効果ガスの排出量実質ゼロ

### 4. 将来ビジョン、基本方針

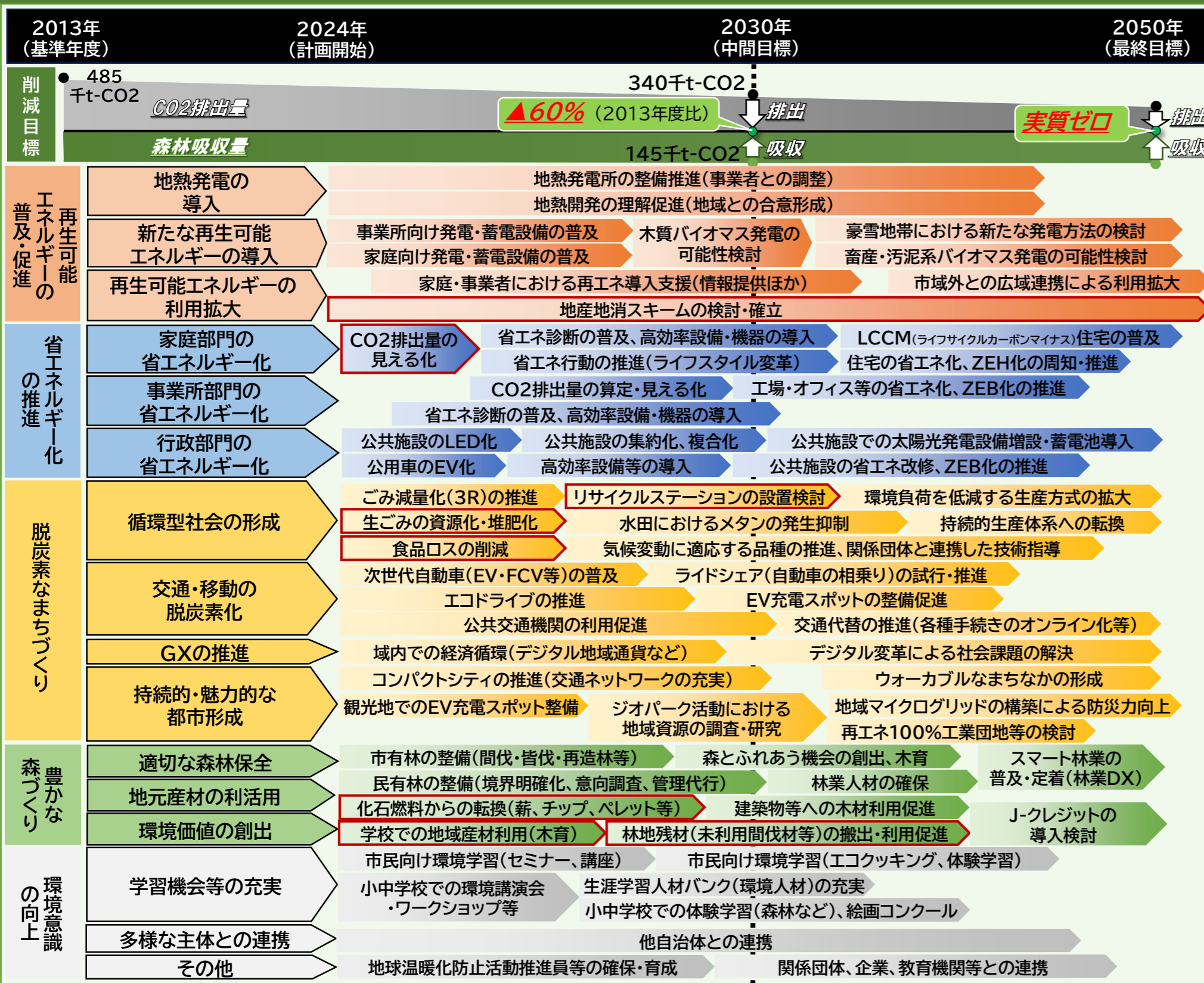
脱炭素の達成と社会・経済の同時発展による“サステナブルシティゆざわ”  
～ゼロカーボンを通じて、まちも人も自然も元気に～

- 「まちづくり」  
市内全域で地元生産の再エネ電気(地熱)を使用  
創エネや蓄電設備の導入が進み、災害に強く住み良いまちに！
- 「地域経済」  
企業に脱炭素経営やサーキュラーエコノミー(循環経済)が浸透  
人・モノ・資金の循環によって地域経済が持続的に成長
- 「市民生活」  
多くの市民が脱炭素の重要性を認識、環境に配慮した行動が当たり前  
エコ活動を通じて、ウェルビーイング(健康・幸福)な暮らし
- 「自然環境」  
木材の利用が促進され「きって・使って・植える」循環システムが浸透  
生物多様性が適切に保全



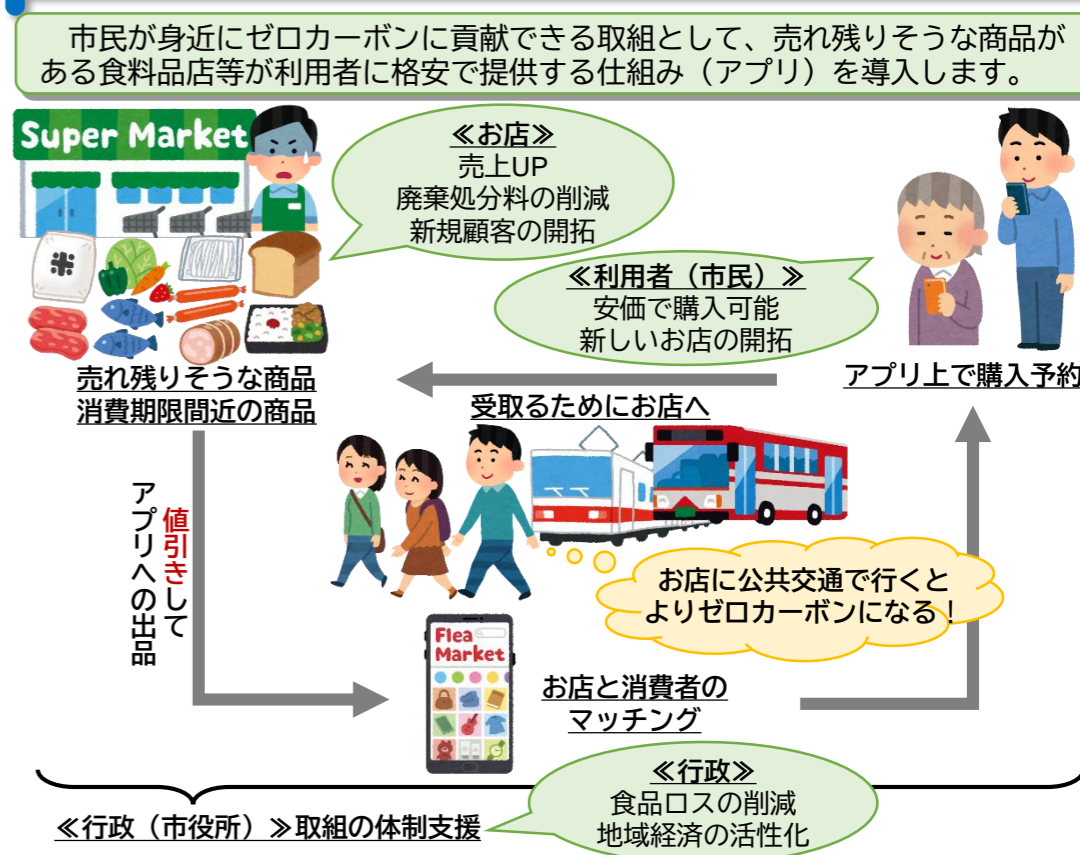
高校生のイラストを挿入予定

## 5. ゼロカーボン実現に向けたロードマップ ※一部抜粋して掲載

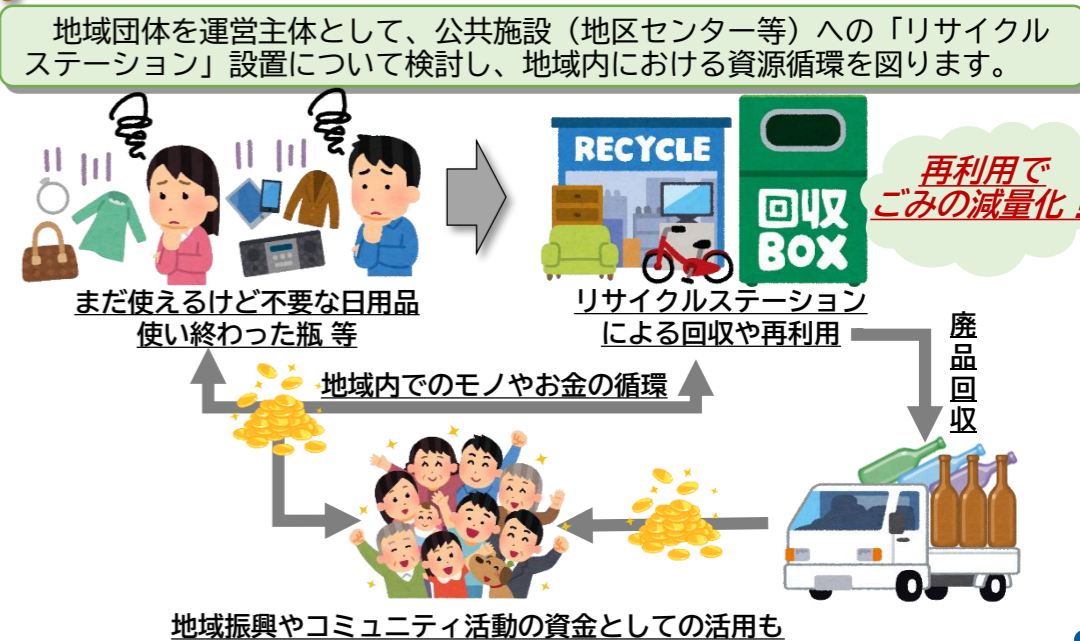


## 6. 重点プロジェクト

### 短期プロジェクト 食品ロス削減マッチングサービスの導入



### 中期プロジェクト 地域ぐるみで行う「リサイクルステーション」の設置検討



### 短期プロジェクト ごみ減量大作戦 ～1人1日おにぎり1個分のごみを減らそう～

市民にとって身近な「ごみ」について、できることから始められる具体策などを示しながら、オール湯沢で意識啓発を図ります。



【みんなの目標】市民1人が1日おにぎり1個分(100g)のごみを減らす!

### 短期プロジェクト 木質バイオマス導入補助金

各家庭において、化石燃料を使用しない薪ストーブやペレットストーブなどの木質バイオマスストーブの導入を促進します。

